



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,914	△4.7	1,172	△17.2	1,310	△17.3	940	△6.5
27年3月期第3四半期	14,603	1.9	1,416	△8.8	1,584	△4.6	1,005	△9.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 546百万円 (△68.4%) 27年3月期第3四半期 1,727百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	47.26	—
27年3月期第3四半期	50.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	34,158	28,788	84.3	1,457.18
27年3月期	34,269	28,771	84.0	1,440.91

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 28,788百万円 27年3月期 28,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	18,520	△5.9	1,600	△9.1	1,770	△9.5	1,490	52.4	75.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	20,680,000 株	27年3月期	20,680,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	923,345 株	27年3月期	712,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	19,904,969 株	27年3月期3Q	19,933,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）におけるわが国経済は、円安、原油安の恩恵を受けた一部輸出型産業においては比較的好調に推移しましたが、その他多くの産業では、中国、新興国などの海外経済の減速に加え、原油をはじめとする資源安の影響を受け苦戦を強いられています。当社の薬品事業の売上、利益に大きく影響する主要原材料である非鉄金属相場も下落が続いており、また中国経済後退に伴う影響が直接・間接的に顕在化しております。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓、価格競争力を増すための低コスト体質強化に取り組むとともに、海外（タイ）子会社においては主力ユーザーの事業撤退に直面したネクサス・エレケミック社の早期立て直し、サイアム・エヌケーエス社における新製品の安定生産・販路拡大・更なる追加品目としての新製品の立上げ、実績化に努め、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の本格稼働、増産への迅速な対応に尽力してまいりました。しかしながら、国内需要低迷に加え、ネクサス・エレケミック社をはじめとして当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しく、結果として、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比で689百万円4.7%減の13,914百万円、営業利益が前年同四半期比243百万円17.2%減の1,172百万円、経常利益が前年同四半期比274百万円17.3%減の1,310百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も、東京電力からの逸失利益と除染費用の補償金181百万円、投資有価証券売却益67百万円を特別利益に計上したものの、ネクサス・エレケミック社の第2四半期における減損損失61百万円およびリストラに伴う特別退職金18百万円を特別損失に計上したこともあり、前年同四半期比64百万円6.5%減の940百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

## 〔薬品事業〕

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフトおよび中国経済減速の影響等により販売数量が伸び悩み、また非鉄金属相場低落による販売単価が下落したことにより売上高が減少し、海外においては、サイアム・エヌケーエス社における更なる新製品である車載用関連製品2品目が実績化され、売上、利益とも増加したものの、ネクサス・エレケミック社および国内の低下を補いきれず、売上高は前年同四半期比541百万円4.5%減の11,581百万円となりました。

利益面では、国内においては、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工が本格稼働したことにより固定費負担が一部軽減されたものの、生産数量全体の伸び悩みに加え、非鉄金属相場低落による採算低下から大幅減となり、海外においても、ネクサス・エレケミック社がパソコン関連需要の低迷下での主力ユーザーの事業撤退等により、第2四半期において減損処理を行い、加えてリストラ等の対応を行ったものの営業損失の状況から脱却できず、薬品事業全体の営業利益は前年同四半期比160百万円15.4%減の881百万円となりました。

## 〔建材事業〕

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響で、当社の主要納入先であるハウスメーカーの受注額も前年同月比で横ばい、微減が続いており、当社の住宅関係の主力製品である防火通気見切り縁や、新製品が伸び悩み、売上高は前年同四半期比148百万円6.0%減の2,333百万円となり、利益面でも、前述のように採算面で影響の大きい主力製品の防火通気見切り縁の減少等により、営業利益は前年同四半期比76百万円10.8%減の628百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、棚卸資産、売上債権が減少したものの、現金および預金が増加したことにより、前連結会計年度末比518百万円増の21,586百万円となりま

した。固定資産は、有形固定資産が既存設備の減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比434百万円減の5,387百万円となり、投資その他の資産では投資有価証券が株価下落に伴い減少したことにより前連結会計年度末比184百万円減の7,134百万円となったことから、固定資産全体でも前連結会計年度末比629百万円減の12,572百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ110百万円減の34,158百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比21百万円減の4,287百万円となり、固定負債も前連結会計年度末比106百万円減の1,081百万円となったため、全体で前連結会計年度末比128百万円減の5,369百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金等が減少したものの利益剰余金が582百万円増加したことにより、前連結会計年度末比17百万円増の28,788百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.0%から84.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および第4四半期の事業環境等を考慮し、前回発表(平成27年11月6日)の業績予想を修正しております。

前回の発表以降、薬品事業においては、海外子会社の業績は新製品の実績化により大きく改善し、国内薬品においても、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工が本格稼働し増産に向けての対応も想定通りに推移したものの、その他国内薬品の業績が国内需要の低迷に加え非鉄金属相場の低落により売上・利益とも低下し、建材事業においても、主力製品の販路拡大および新製品の実績化が想定通りに推移せず、第3四半期の業績が低迷したことおよび第4四半期の事業環境も、その影響が継続することが予想されることから業績予想を修正いたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,714,968	12,172,818
受取手形及び売掛金	6,408,936	6,101,633
商品及び製品	1,242,297	810,017
仕掛品	1,064,955	1,082,587
原材料及び貯蔵品	1,375,396	1,172,530
繰延税金資産	169,169	169,776
その他	93,252	78,413
貸倒引当金	△1,750	△1,700
流動資産合計	21,067,226	21,586,077
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,114,141	1,792,691
その他(純額)	3,708,202	3,594,735
有形固定資産合計	5,822,344	5,387,427
無形固定資産		
	60,770	50,536
投資その他の資産		
投資有価証券	3,896,489	3,563,931
繰延税金資産	5,816	50
その他	3,418,041	3,572,126
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	7,318,778	7,134,539
固定資産合計	13,201,892	12,572,503
資産合計	34,269,118	34,158,580
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,317,031	2,217,765
短期借入金	535,614	874,800
未払法人税等	287,265	207,470
賞与引当金	315,000	150,895
役員賞与引当金	20,000	18,750
債務保証損失引当金	8,673	-
その他	825,863	818,045
流動負債合計	4,309,447	4,287,726
固定負債		
繰延税金負債	732,325	630,872
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	258,085	260,213
資産除去債務	115,412	117,370
その他	72,878	63,954
固定負債合計	1,188,234	1,081,943
負債合計	5,497,682	5,369,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	607,788	613,573
利益剰余金	25,637,354	26,220,150
自己株式	△285,205	△461,805
株主資本合計	26,993,937	27,405,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259,075	1,064,671
為替換算調整勘定	479,877	284,637
退職給付に係る調整累計額	38,545	33,682
その他の包括利益累計額合計	1,777,499	1,382,992
純資産合計	28,771,436	28,788,911
負債純資産合計	34,269,118	34,158,580

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,603,827	13,914,491
売上原価	11,356,680	10,938,082
売上総利益	3,247,147	2,976,409
販売費及び一般管理費	1,830,930	1,804,022
営業利益	1,416,216	1,172,387
営業外収益		
受取利息	17,000	17,479
受取配当金	51,778	65,195
不動産賃貸料	21,017	42,836
その他	106,257	55,989
営業外収益合計	196,053	181,501
営業外費用		
支払利息	10,776	8,561
売上割引	9,127	8,200
賃貸収入原価	7,466	25,354
その他	340	1,324
営業外費用合計	27,711	43,440
経常利益	1,584,558	1,310,447
特別利益		
固定資産売却益	1,157	32
投資有価証券売却益	0	67,038
受取補償金	-	181,865
特別利益合計	1,157	248,936
特別損失		
固定資産除却損	9,718	13,358
減損損失	-	61,355
特別退職金	-	18,039
特別損失合計	9,718	92,752
税金等調整前四半期純利益	1,575,998	1,466,631
法人税等	570,269	525,858
四半期純利益	1,005,728	940,773
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,005,728	940,773

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,005,728	940,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	591,307	△194,403
為替換算調整勘定	128,261	△195,240
退職給付に係る調整額	1,965	△4,863
その他の包括利益合計	721,534	△394,506
四半期包括利益	1,727,262	546,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,727,262	546,266
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,122,638	2,481,189	14,603,827	—	14,603,827
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,122,638	2,481,189	14,603,827	—	14,603,827
セグメント利益	1,042,447	705,181	1,747,629	△331,412	1,416,216

(注) 1. セグメント利益の調整額△331,412千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,581,307	2,333,184	13,914,491	—	13,914,491
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,581,307	2,333,184	13,914,491	—	13,914,491
セグメント利益	881,859	628,798	1,510,658	△338,271	1,172,387

(注) 1. セグメント利益の調整額△338,271千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	薬品事業	建材事業	計		
減損損失	61,355	—	61,355	—	61,355